

## 「全国部落調査・復刻版」メルカリ販売の事実経過

私は、インターネット上で「全国部落調査・復刻版」を見つけて、印刷・製本し、メルカリに出品して3冊を販売しました。事実経過についてできる限り思い出して整理してみると、以下のとおりです。

## (1)

私は「部落」については、中学校の時に勉強したことは覚えている。2016年高校1年生の時、「現代社会」の授業で先生が「全国部落調査」のことを話され、昔、会社や興信所が使った問題になったという話がありましたが、ただ、あまり詳しいことについては触れられなかったのもっと知りたいと思いました。高校1年生の時、先生の話以上のことが知りたくなり、家で自分のスマホで「部落」などというワードでネット検索をしてみました。

すると、示現舎のサイトや全国の部落の地名が書かれたサイト、「復刻全国部落調査」のPDFデータを配布するサイトなどを見ました。そこで詳しいことを知れてその時は満足しました。

「全国部落調査」を見たのは、インターネットで「部落」に関連することを検索し始めて10～20分くらいたってからでした。3・4番目くらいだったと思います。全国の部落の数の多さや職業などが細かく書かれていることに驚きました。「部落地名総鑑の原典」と書かれているのは見ましたが、「部落地名総鑑」というのが何かは知りませんでした。また、それを使ってどのようなことが行われていたのかについては、この時は詳しく調べることはありませんでした。

他にも、「鳥取ループ」のツイッターや「示現舎」のサイトも見ました。「全国部落調査」に関する記事を中心に見ていたので、他の内容ははっきりと覚えていません。この時、「全国部落調査」がネットで自由にオンデマンド印刷できると掲載されていましたが、印刷方法が面倒だと感じて、特に何もしませんでした。

## (2)

2017年2月～3月ごろ（高校1年生から2年生になるころ）、やっぱり印刷して本という形で所有したいと考えて、3冊印刷して製本しました。この3冊のうち2冊はとりあえず自宅で保管し、1冊は友達に見せるために鞆に入れました。友達に見せましたが、それほど興味を示しませんでした。その後、使い途はなかったので、ずっと鞆に入れっ放しで、気付いたら状態が悪くなっていました。

私は自分がこの3冊を持っていてもしかたないし、部屋の整理もかねて、以前に文具などをかうために利用したことのある「メルカリ」を使って売ってみようと思いました。高校3年生だった今年の1月15日ごろ、1冊目を出品しました。

出品するときは、示現舎の書いていた説明を参考にして、以下のような説明をつけました。

私がこの本の売りになる点と認識していたことです。

「ご覧いただきありがとうございます。／『全国部落調査』という古い本の復刻版となります。元になった本との違いは、手書きではないこと、横書きであること、現在地が書かれていることなどです。／以前Amazonで販売される予定でしたが、突然出版禁止となってしまう、現在も販売されていない幻の本です。(画像6枚目に当時の画像を載せています)／示現舎が作成したデータのPDRを元にオンデマンド印刷で作成したものです。(複製の許可は不要と書いてあります。)200ページほどあります。画像で分かる通り背表紙が若干ずれています。数年前に作成しましたが、こちらのものは新品のまま保管していました。細かなキズ等はあるかもしれませんが、目立つキズや汚れは見当たりません。」

1月19日に、1冊目が5555円で売れました。思っていたよりも高く売れたので、私は持ち歩いてきた2冊目も売りに出しました。この時は、商品の説明の一部を、「数年前に作成しましたが、こちらのものは持ち運んでいたためかなり状態が悪いです。画像で判断してください。ページの折れや破れ等はありませんが、目立つキズはあります。／手元にあるものでは最後の一冊です。」と書き換えました。1月21日に、2冊目は3500円で売れました。3冊目については、1月30日にメルカリのサイト内から直接売ってくれとの連絡があり、専用出品として売りに出しました。これも1月31日に5000円で売れました。

メルカリのシステム上、誰が買ったのかについては、私にも分かりません。

(3)

私は、短い時間に3冊を売り切ることができたこと、新品は5555円でキズがあるようなものでも3500円という予想外の高価格で売れたことに驚きました。それだけ需要があるのだと思いました。

そこで、私は、2冊目が売れた1月下旬頃だったと思いますが、2冊をさらに追加製本しました。

本が出版禁止となっていること、裁判になっていることについては、ウェブサイト上の情報で知っていました。原告側が出している情報については知りませんでした。

3冊目が売れた後に、メルカリから商品ページを削除するように連絡が来ましたが、システム上一定の時間がたたないと削除できなかつたので、何日か過ぎた後に、自分のアカウント情報から削除しました。その前に、メルカリが商品ページを非公開にしたようですが、そのことは後で聞きました。

(4)

3月22日、ネットニュースで、『「部落地名総鑑」県内からネット出品 出版中止の原本復刻版 3冊売れる』というタイトルで、かなり大きな記事が掲載されているのに気づきました。この記事には、唐津市職員が1月20日に出品に気付き、連絡を受けた佐賀県人権・同和対策課が、佐賀法務局に報告したこと、同課がメルカリに通報したことなどが書かれていました。

私は、自分のやったことが大きな問題になってしまっているのに驚き、どうしていいのか

わからずとても不安になりました。

そこで、この日の午後、新聞記事に出ていた佐賀県人権・同和対策課に電話を入れました。ドキドキしましたが、「自分が売りました。謝りたいと思います」と伝えました。

3月26日、自宅から近い役所に佐賀県人権・同和対策課の人が来てくれて、1時間弱お話をしました。

このとき簡単に経緯をお話ししました。「差別に加担するという認識はなかったか」と聞かれましたが、「出品時には部落差別につながるという認識はなかった。希少な書籍のようなので売ればいいなぐらいの安易な気持ちだった」と答えました。佐賀県庁の方からは、2016年にできた部落差別解消推進法や部落差別の話などがありました。

また、手元に2冊追加製本したものがあっても正直に話しました。

3月29日、県の施設で佐賀県人権・同和対策課の人と面談しました。このときに手元に保管してあった2冊も渡しました。

以上がメルカリ販売の経過です。

2019年8月11日



ハンドルネーム まりっか

上記について、ハンドルネーム まりっか氏の陳述に相違ないことを証明する。

令和元（2019）年8月23日

佐賀県県民環境部長 落合 裕

